

棚POWERインフォメーション

涼しさも増し、初秋の空がさわやかな季節になってまいりました。



Vol.10

97.10.08発行



I Concept
サポートセンター

TEL(06)821-2571(代)
FAX(06)821-2572

今回の特集は棚POWER95のユーティリティの便利機能を紹介しています。

●売上情報のインポートについて

売上情報のインポート時に「データ置換え」か「セット項目更新」を選択することにより、データの取込み方法が異なりますので、ご注意下さい。

・「データ置換え」…既存の売上データに無条件に上書きされます。

例えば、棚POWER内に3期間目までのデータがある場合、4期間目のみ入力されたデータをインポートすると、1～3期目のデータは消え、4期間目のみのデータに書き変わります。

・「セット項目更新」…売価が設定されている期間データのみを追加します。

例えば棚POWER内の3期間目までのデータに4期間目のデータを追加する場合はこの設定で取り込みます。

外部でデータを作成し、追加でインポートする場合は追加したい期間の項目にデータを入力してください。

今回の例の場合であれば期間データ(4)の項目にデータを入力します。期間データ(2)へ入力しインポートした場合は期間データ(2)へ上書きされます。



●不要な分類属性の削除

不要な分類属性を一括で削除したい場合は、<ユーティリティ>・<<分類>>のインポートを実行することで可能となります。

1. <ユーティリティ>・<<分類>>で不要な分類属性が含まれる分類をCSV形式でエクスポートします。
2. エクセルなどの表計算ソフトでエクスポートしたファイルを開き、不要な分類属性の情報フラグを“9”に変更して上書き保存します。
属性コードに前0がある場合はユーザー定義を行なって下さい。
3. <ユーティリティ>・<<分類>>でインポートを行なうと、情報フラグが“9”のものは削除情報として取り込まれます。

※関連会社様等の分類体系の異なる支店展開データを取込まれる場合には、次の項目のチェックを必ず外してインポートを行なってください。

- ・分類(属性)名
- ・モデル検索キー
- ・選択項目内の商品属性1～6及び仕入先

上記の項目以外にも取込みたくない項目はチェックを外すと取込まれません。

また、メンテナンス用に商品情報のCSV形式のデータもやりとりされることをおすすめします。

※情報フラグに“9”がセットされている分類は次回インポート時に内部的にも削除されます。

逆に誤って削除した情報はいったん外部にエクスポートし、情報フラグを“0”に変更することでインポート時に有効情報として復活させる事が出来ます。

この有効情報の復活方法は商品情報・売上情報でも同様です。

●陳列した商品の情報だけをエクスポート

棚POWER95では、作成したモデルに陳列してある商品の商品情報だけをエクスポートすることができます。

1. エクスポートしたい商品を陳列しているモデルを<ユーティリティ>・<<陳列状況>>で外部に出力します。(CSV形式)。
2. エクセルなどの表計算ソフトでエクスポートしたファイルを開き、JANコード以外(識別子、項目名も含む)を全て削除後、保存します(JANテーブルの作成)。この時、必ずJANコードのユーザー定義を行なって下さい。
3. <ユーティリティ>・<<商品情報>>のエクスポートでJAN指定を選択し、<<CSVファイル読み込み>>で作成したJANテーブルを読み込みます。
4. エクスポートを実行すると陳列した商品の情報のみ外部に出力できます。
※支店展開でも同じ事が可能です。

棚POWER95でのご注意

●起動時にエラーが発生する場合

棚POWER95の環境設定で設定したフォルダが存在しない場合は、起動時にエラーが発生します。環境設定ユーティリティを起動し、正しいフォルダを指定して下さい。また、設定したフォルダが初期化されていない場合は機能指定時にエラーが発生しますので、初期化を行なうかデータの存在するフォルダを指定し直して下さい。マスターフォルダは不用意に削除したり名前を変えたりしないようにご注意下さい。

●フェイスングの立ち上がりが遅い場合

棚POWER95は画面の構成、開いているウィンドウを記憶します。フェイスング終了時に分析検証ウィンドウを開いたまま終了すると、次にフェイスングを開いたときに再度分析処理を実行するため時間がかかる場合があります。通常、分析検証ウィンドウを使用しない場合は、フェイスング終了前に閉じておきましょう。またカテゴリーグループ抽出で、不必要な属性を抽出している場合もフェイスングを開くのに時間がかかる場合があります。必要な属性だけを抽出するようにしましょう。

●ハードディスクの空き容量について

ハードディスクの空き領域が不足していると正常な作業が行なえません(印刷が出来ない等)。これは棚POWERに限らずWindowsで作動する全てのアプリケーションにおいて共通です。ゴミ箱内や¥Windows¥Tempの中のTmpファイルを削除して空き領域を確保して下さい。

●JPEGファイルについて

一部のユーザー様でメンテナンスイメージでJPEG形式のファイルが取り込めないという現象が確認されております。また、Windowsの環境が256色の状態でダミーイメージの積上を行うと積上イメージが一部表示されないという現象が起きております。こういった現象が確認されたユーザー様は、対応システムファイルを送付いたしますのでご連絡下さい。

MD-ing講座④ ●I. S. M. の内容●

顧客は何か商品を購入する時、この商品だったらAの店がいい、あの商品だったらBの店がいいと、必ずその商品を使用する場面を想定し、その場面をイメージして決めています。例えば、今日は特別な友人の来客があるとします。そんな時料理の素材をどこで購入するでしょうか。近くのいつも利用しているスーパーマーケットで購入するでしょうか。そうではないと思います。ちょっと値段は高くても質の高い、あるいは、普段なかなか購入しない変わった商品を購入するという前提で店を選択するのではないのでしょうか。このように、I. S. M. を実行する前に店としての主張をどこに置か、コンセプトをどこに置かが非常に重要な要素になります。まずこの事を確認しておきます。

では本題に入ります。

I. S. M. の起点は、計画購買の顧客が全体の約20%位いしかない約80%の顧客が来店してから決めているという事から来ています。そこから、店内をある方法で“操作”していくと客単価が変化する事を導き出したのです。

まず、店舗というレベルから、プレゼンテーションの8Cがあります。

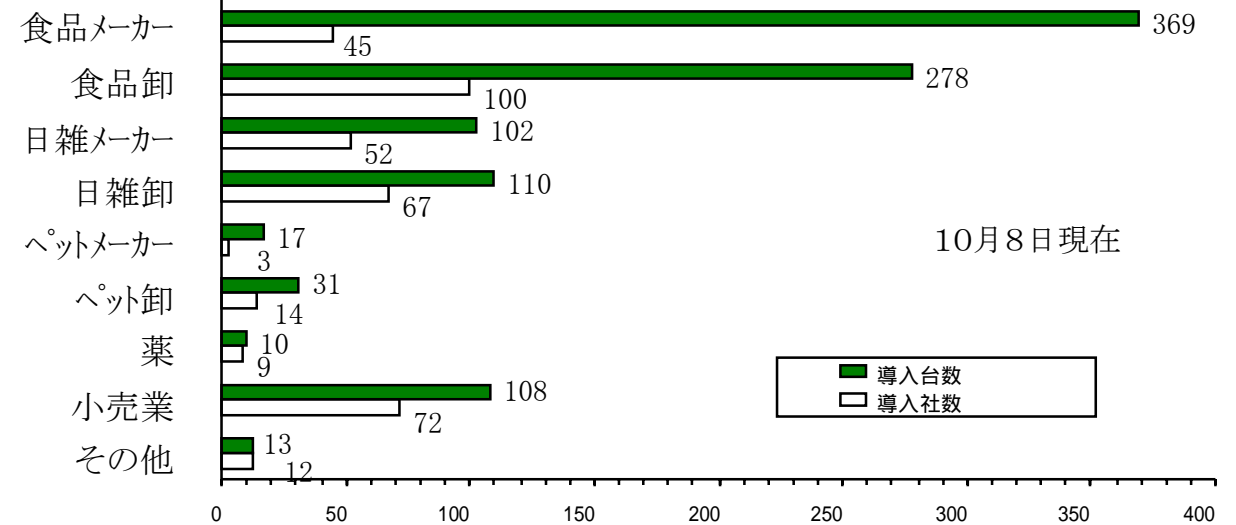
それは、

- 1) Cleanliness (清潔性)
 - * 売り場がごちゃごちゃしていないこと
 - * 清掃が行き届いていること(床・陳列什器・商品 etc)
 - * 通路に空き箱などが落ちていないこと
 - * 前進立体陳列がされていること
 - * 売り場の位置が一目で分かること
- 2) Convenience (便利性)
 - * 店員に聞かなくても、欲しい商品がどこにあるか分かりやすいこと
 - * 関連する商品が一か所にまとまっていること
- 3) Customer Service (便益性)
 - * 接客態度が丁寧に実施されていること
 - * 売り場での商品説明きちんとされていること
 - * 売り場へ行きやすいこと
 - * レジでのテキパキした動作ができるように訓練されていること
 - * 店のイメージが伝わるBGMが流れていること
- 4) Confidence (信頼性)
 - * 品切れがないこと
 - * 欠陥商品がないこと
 - * レジで価格を間違えないこと
- 5) Change Of Pace (変化性)
 - * 売り場演出に工夫があること
 - * 陳列の工夫があること
 - * 定期的な商品の入替えがあること
- 6) Color Control (色彩性)
 - * 色の組み合わせ効果の利用があること(商品・什器・設備)
- 7) Comfortable (快適性)
 - * 1)~6) の総合効果
- 8) Cost Control
 - * コストが掛からないこと

以上8Cのチェックから始めます。店として顧客を迎えるに当たって最低限実施しなくてはならない項目です。

今回は、通路の作り方についてです。

棚POWER導入数(374社1038セット)



お知らせ

●導入台数1000本達成!

棚POWER出荷開始より3年半で、早くも1,000本を超えるご導入を頂く事が出来ました。また、今年7月には棚POWER95を出荷することができ、更にこの10月下旬には次期バージョンアップも予定しております。これもひとえにみなさまのお力添えによるものと心より感謝しております。これからも更なる向上を目指しスタッフ一同努力してまいりますので、今後ともご指導いただきますようお願い申し上げます。

●事務所移転のお知らせ

平成9年10月20日より、事務所移転のためサポートセンターの住所が変わります。これに伴いまして、誠に勝手ではございますが**10月17日は電話工事の為、業務を休ませていただきます**のでご了承下さい。

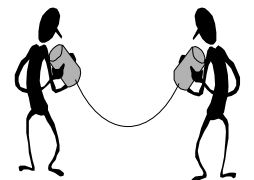


1. 移転先業務開始日 平成9年10月20日(月)
2. 新住所 〒564 吹田市広芝町9番28号 江坂三生ビル4F
TEL 06-821-2571, FAX 06-821-2572
TEL, FAX番号の変更はありません。
3. サポートセンター受付時間 9:30~12:00 13:00~18:00

●第2回ユーザーフォーラム開催について

第2回ユーザーフォーラムの開催日時が決定いたしました。

開催日時 97年11月28日 (金) PM 1:00 ~
場 所 東京ヒルトンホテル(新宿) 菊の間



午前中には棚POWER相談会、ユーザーフォーラム終了後には立食パーティーを予定しております。詳しいスケジュール、及び参加申込書は別紙にてご案内致します。尚、棚POWERユーザーフォーラム参加申込書は10月25日必着ですのでFAXにてご返送いただきますようお願い申し上げます。ご不明な点はサポートセンターまでお問い合わせ下さい。